

生

人はみな、
生かされて
生きてゆく

発行 名張保護司会

〒518-0718

名張市丸之内9 総合福祉センターふれあい内
☎637575 FAX 643349

更生保護ネットワーク

名張保護司会便り

No.17

新任のごあいさつ

更生保護にご理解を

よろしく願います

名張保護司会 会長 中内 中

昨年は、東日本大震災という未曾有の災害に見舞われ、犠牲となられた皆さんのご冥福と被災地の一刻も早い復興を心より願っております。



市民の皆さんには、名張保護司会活動に対して「愛の資金」というご援助をいただいておりますこと、誠に力強く、心から感謝申し上げます。

保護司会では、犯罪や非行の防止、また、罪を犯した人々への更生への理解を深め、立ち直りの援助を主な活動としていますが、近年特に、不労者の再犯率の高さが社会的にも大きな問題となっております。当地区にも、対象者を積極的に雇用いただける企業数社により、「協力雇用主会」を立ち上げていますが、経済環境の悪化などにより、苦戦しているのが現状です。保護司会では「明るく社会の実現」のため、さまざまな課題に取り組んでまいります。

市民の皆さんの、さらなるご理解とご支援をお願い申し上げます。

立ち直りを支える地域のチカラ 愛の資金

第61回「社会を明るくする運動」募金は、皆さんのご理解とご協力により大きな成果を上げることができました。募金は右の事業に活用させていただきました。愛の資金は各地区を通じて市内の全世帯に呼び掛けご協力をいただいております。ご協力いただいた皆さんに厚くお礼申し上げます。

募金総額 1,698,710円

社会を明るくする運動事業	551,662円
保護司会活動費用事業	517,048円
更生保護女性会活動事業	120,000円
名張 BBS 会事業	60,000円
更生保護大会	200,000円
県更生保護事業助成	250,000円

ホームページを公開中!

<http://www.kouseihogo-mie.jp/>

三重の更生保護 検索

更生保護や保護司の活動について掲載中



第61回 社会を明るくする運動



伊藤和子杯中学生卓球大会

犯罪からの立ち直りには、彼らを見守り支える地域の温かい心が必要です。また、彼らが立ち直り、二度と罪を犯さなければ、わたしたちの暮らす地域も安心で安全なものになります。

また、8月には、スポーツ活動を通じて青少年の健全育成を図るため、「第6回伊藤和子杯中学生卓球大会」を、卓球の殿堂入りを果たされた、市内在住の伊藤和子さんをお招きして開催しました。



隠(なばり)街道市での啓発活動。社明ぜんざいを販売しました。

名張市更生保護女性会

地域の活力は、健全な子ども達の養育の原動力になります。名張市更生保護女性会は「温かい心」「細やかな思いやり」を大切に、明るい地域づくりに取り組み活動している女性ボランティア団体です。昭和55年7月に発足し、現在会員660人で活動しています。

市内の小・中学校の早朝あいさつ運動、子育て支援、地域との連携を深めるためのミニ集会、三重刑務所や三重県保護会など更生保護施設に物心両面にわたる援助協力、「社会を明るくする運動」への参加協力などの活動をしています。



小学校でのあいさつ運動

名張BBS会

BBS会とは、さまざまな問題を抱える少年たちと、兄や姉のように身近な存在として、「同じ目の高さ」で接しながら少年が自分自身で問題を解決し成長するための支援をするともに、犯罪や非行のない地域社会を目指す青年ボランティア団体です。



BBSライブ 2011

名張少年サポーターふれあい隊に所属し、地域パトロールに参加したり、適応指導教室のサポーターをしたりしています。また、昨年9月にBBSライブを総合福祉センターふれあい館で実施しました。大勢の若者がステージ上でギター弾き語りやヒップホップダンスなどのパフォーマンスを披露し、会場に訪れた人と共に大いに盛り上がりました。

名張更生保護協力雇用主会

なぜ犯罪や非行をした人に就労支援するのか。不思議に思われるかもしれませんが、犯罪や非行をした人を排除するばかりでは、安心・安全な社会を実現することはできません。これらの人たちが社会に帰ってきたとき、その更生の決意を支え、立ち直れるよう援助し健全な社会の一員とすることが必要です。

特に職に就き、責任のある社会生活を営むことは、立ち直りに向けた大きな始まりの一步になるのです。協力雇用主には、試用雇用(試用期間あり)、身元保証システム(1年間保証。損害賠償見舞制度あり)、職場適応・定着指導員による事後支援などがあります。詳しくは保護司会事務局へお問い合わせください。